

FRIENDS OF GREEN

フレンズ オブ グリーン

緑友会コミュニケーション誌

1997年7月発行

No. 94

佐賀県鹿島市大字納富分2907-1
発行人 松浦 正欣 佐賀県印刷人若楠会
編集人 やまなし印刷若人会



第40回 全国印刷緑友会長野総会

 全国印刷緑友会

全国印刷緑友会

第22代 松浦会長就任



去る5月24日長野においておこなわれました第40回全国印刷緑友会総会において第22代会長に就任させていただきました。

前日の長野青年印刷人緑友会創立40周年記念式典においては、全国緑友会創立メンバーにふさわしい先輩方の感動的なお話を聞き、又総会に先立っておこなわれた善行寺での物故者の供養など、長野という「地」40周年という「時」がマッチしたすばらしい総会ではなかったかと思えます。

40周年にふさわしい長野を選んでいただいた長尾直前会長、そして長尾直前会長の意を十分に汲み主管をしていただきました長野青年印刷人緑友会の皆様に心から敬意を表します。

さて、創立40周年という大きな節目の年に第22代の会長に就任させていただいたわけですが、ただ単に40年という時間的な節目というだけでなく、社会全体がアナログからデジタルへと急速な変化をしていく中で、私たちの印刷業界もいやおうなく大変化を強いられてきました。全く不透明だったものが少しずつ見えてくるにしたがって、私たちの印刷業界は次の新しい時代の中心的な役割をはたすことになることが予想できるようになってきました。しかし、個々の企業がこの新しい時代に乗遅れないためには、これまで以上に数多くの情報を収集し横並びでない独自のアイデンティティをいかに早く確立するかということが大きな条件となってくるのではないのでしょうか。

このような時代の大きな節目の時も合わせて迎えた私たち全国緑友会は、創立の原点である「友情と修練」を今一度確認するとともに、全国1300人の会員が辞書の一ページとなるよう友情に裏打ちされたネットワークをこれまで以上に拡大し、密にしていかなければなりません。

緑友会は道場といわれます。それは同じ印刷という情報の加工を生業とするそれぞれの会員が、仕事のことや人生について語り合い情報を交換することで、互いに触発され成長し合うことの出来る場だからではないのでしょうか。

そのような意味においても、あらゆる機会を利用して、すべての会員が情報交換できる場を提供していくことが私に課せられた課題だと認識しています。又、緑友会の運営においても、やはり10年後20年後の新しい時代を見せることのできる年代の方達を中心として、時代にマッチした価値感による運営が必要だと思います。そのことこそ全国でも他の業界では見ることのできな緑友会の独特な特長を生かしながら、全国に広がり、40年という時を刻むことのできた源であり、今後の発展を約束するものにちがいはありません。

「灯灯無尽」という言葉があります。ローソクの炎は一本では燃え尽きてしまいましたが、次々と新しいローソクへ火を灯すことで緑友の炎も尽きることなく永遠に燃え続けることができるでしょう。「新しい時代へのバトンタッチ」それが私のこの二年間の最大の仕事と認識し力のかぎり努力する覚悟でありますので御支援賜りますようお願い申し上げます。

前会長挨拶

緑友の友情に感謝

全国印刷緑友会
第21代会長
長尾 良宣



全国印刷緑友会の皆様には、益々お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。先日の第40回長野総会では長野青年印刷人緑友会の皆様の心暖まる友情と、常任幹事、グループ長、参加メンバーの皆様のご支援ご協力のお陰様で、次期松浦会長に引継が出来ましたことを改めて御礼申し上げます。

さて、長崎総会で就任させて頂きました時に「友情と研鑽」を方針に掲げさせて頂きました。これは私（青森県印刷青年経営者会議）が緑友会に入会して以来、各行事に参加させて頂く中で全国の多くの緑友のメンバーとの出会いがあり、知り合うことができました。そして、皆様とお付き合いをさせて頂く中で友情の輪が拡がり、私にとりましては、非常に強い刺激と感動を受け多くのことを学ばさせて頂きました。この事が己のエネルギーを培い、自己革新の意欲となり結果として、自社の経営理念の確立と自己実現・人生観に大きな影響を頂く事が出来ました。

緑友会は私達青年印刷人にとって必ずしも結果だけを求める場ではなく、総会・大会・セミナーを通じて自らが求めてふれ合い、同じ業界の仲間として喜びや悩みを分かち合う心と心のふれあう同志的集団であると思います。そして、互いに刺激し合い、協力し合いながら経営・技術の情報交換を通じて自己革新、自己研鑽を積む場であるとも思えたからであります。

又、各グループの活性化が緑友会の発展に継がるとの思いから、会員で、特に専門の分野で豊富な知識と経験をお持ちで大変素晴らしいご活躍をされておられる皆様（情報ネットワーク委員）を各グループの例会等でお招きして、緑友の各行事に参加頂けなかった多くの会員の皆様と緑友会の原点をお話して頂き、又、経営・技術のセミナーを通じて自己のチャレンジ&トレーニングのお役に立って頂ければと緑友情報ネットワークの構築と活用を推めて参りました。

21世紀は、情報とネットワークの時代と考えます。私達印刷産業に携わる者たちはより深い絆を持って時代にマッチした経営・技術を勉強し、その活用の為の情報ネットワークを構築していかねばなりません。全国印刷緑友会の使命は印刷産業という、情報化時代の一方の主役を務める私達会員による、現代ソフトとネットワークの構築と活用のあるべき場であると考えます。

会員の皆様には、新しい印刷産業のネットワークの構築を旨として是非、緑友会に積極的に参加して頂けます様お願い申し上げます。

最後になりますが、2年間私の様な者が何とか会長職を務められましたのも偏りに利根川直前会長を始め、常任幹事・グループ長の皆様、そして大変ご多忙の中、全国各グループを訪問して頂き緑友のネットワークの輪を拡げて頂きました情報ネットワーク委員の皆様のご支援、ご協力の賜ものと心から感謝と御礼を申し上げます。又、長崎総会、熊本大会、金沢セミナー、山形総会、山梨大会、神戸復興支援セミナーそして、長野総会と思い出深い素晴らしい感動のイベントを主管して頂きました各グループの皆様の友情に重ねて御礼申し上げます。

全国印刷緑友会の皆様の新執行部への更なるご支援ご協力をお願い申し上げ、緑友会の益々の活性化と会員皆様のご健勝と会社のご発展を心よりお祈り申し上げ会長職退任のご挨拶にさせていただきます。大変お世話様になり本当にありがとうございました。

第40回 全国印刷緑友会 長野総会開催される

と き 5月24日(土)
と ころ ホテル国際21

風薫るさわやかな新緑にあふれる信州、長野市で第40回全国印刷緑友会長野総会が開催されました。午後5時30分、地元長野の木村明副実行委員長の開催のことばに続き、国家斉唱、外間政朝常任幹事の発声による綱領唱和が行われ、長野県印工組合日岐理事長ら来賓の方々、参加グループの紹介がされました。

水嶋昌弘実行委員長より「第40回の記念すべき総会が長野で開催できることは長野青年印刷人緑友会一同の喜び。長野オリンピックを眼前に、長野はハード・ソフトの両面から大きく変わろうとしている。又、七年に一度のご開帳が行われている国宝善光寺は、宗派にとらわれず何人をも受け入れてきたお寺。我々もその心を見習い、参加メンバーを心よりもてなしたい。長野を充分楽しんでいただきたい」と歓迎のことばがありました。

引き続き、長尾会長から「40周年の節目を迎え、今総会で新しい執行部が誕生する。今、時代はまさに変革の時である。緑友の心を忘れず、大切にしながら50周年に向かって新たなチャレンジをスタートしてほしい」とあいさつがありました。このあと来賓を代表して長野県印刷工業組合の日岐理事長が祝辞を述べられました。

その後は、議事審議に移り議長選出では、利根川政明前会長が指名され議事が進行されました。第1号より第7号までの議案がスムーズに審議されました。

役員改選では、長尾会長から佐賀県印刷人



若楠会の松浦正欣君が推薦され、新会長に承認されました。松浦新会長は「本年は発足して40周年の節目を迎え、今まさに時代の変化を先取りするオピニオンリーダーとしての会員グループを支える緑友会へと変化する時代である。1,300人の会員が辞書の1ページであり、会員同士のコミュニケーションの場として活用し、全国グループの活性化と会員企業の発展のため尽くしたい」と抱負を述べ、基本方針として「変わろうよ…緑友」「汲(く)めども尽きぬ知恵の泉…緑友」「ただ楽しい…緑友」「学び合う場としての常任幹事会」の四本柱を発表された。次期総会開催地には、青森県青年経営者会議に決定し議事は無事終了しました。

新井和弘副実行委員長の閉会のことばで無事総会は終了しました。参加者全員の記念撮影が行われた後、7時からは懇親会が開かれメンバーの交流を深めました。



新旧会長バトンタッチ



長野オリンピックのアトラクションにも出るチームです



次は青森さん頼みますヨ!



長尾会長御苦労様でした

総会 ライブラフリー



青汁のイッキ飲みです



なかなか割れない風船ダー



緑友の牛に引かれて善光寺参り



「緑友会は不滅デス」バンザイ

第40回全国印刷緑友会

長野総会を終えて

実行委員長
水寄昌弘



早いもので長野総会を終えて1ヶ月がたちました。いま私の気持は、祭囃子が通り過ぎていったあとの寂しい気持と、長いことのかかっていた肩の荷がやっとおりた安堵の気持が交錯しています。

長野総会開催に際しまして全国各地から32グループ162名の大勢の皆様にご参加いただきまして、本当にありがとうございます。私共の会は過去総会2回大会3回主管させていただいてはいますが、10年近く間があいており、久々の主管として1年近く準備期間があったにもかかわらずあわただしく総会を迎えました。

今回は役員改選等審議事項があるため、「総会は総会らしく」をスタンスに、講演会、ディスカッション等は行なわず、新旧のグループ長常任幹事会議を総会の前後にはさみながらの運営になりました。長尾前会長の退任と松浦新会長の新執行部の、長野での新たな旅立ちになりました。スケジュールの中でご不自由ご不便をおかけした事、皆様にお詫び致します。

私共の会は前々主管する際に、長野方式として必ず何か特徴のある事を企画いたしました。今回は長野総会の記念事業としまして、総会開催日の午前中に、全国印刷緑友会物故者慰霊大法要を行ないました。創立40年の節目のときに緑友会の歴史上初めての試みであり、全国印刷緑友会を通じ業界の発展・地域づくりに邁進され、多大なご尽力をされ命を捧げられました、今は亡き各地各会の大先輩ならびに同友各位の御霊のご冥福をお祈りさせて頂くため、7年に一度の御

開帳の善光寺一山御親修のもとに本堂において、厳粛の中に盛大に、全国より回示されました98名の方の法要が執り行うことができました。ご参列いただきました全国緑友の皆様も感慨深いものがあったと思います。

長野青年印刷人緑友会が長野方式の総会で、緑友の心の演出がどれだけ皆さんの心に反映されたか心配ですが、我々としては総会を無事終える事ができた満足感で一杯です。今回主管させていただいて月並みではございますが、私共の会の活性化、団結につながったのはもとよりですが、全国各地に存在する緑友のヒューマンネットワークの素晴らしい仲間の存在を実感しました。

40年の節目になる総会を長野で開催させていただいた意義を考え、創立よりの栄光の歴史にみちた緑友会と、21世紀に向って変わろうとしている緑友会のかけはしになったならば、我々主管グループとしてこのうえない喜びであります。

最後になりましたが今後の全国印刷緑友会の発展と次期青森総会のご成功を祈念いたしまして、お礼のことばといたします。



長野青年印刷人緑友会

40周年記念式典を終えて

長野総会の行なわれた前夜 5月23日(金)、私共の会の創立40周年記念式典が、ホテル国際21にて、長尾会長を始めとする全国常任幹事及び25名の緑友の皆様においでいただき、そして当地長野から来賓・OB・現役会員とで92名の参加により開催されました。

式典終了後、倉沢信子氏によるインデアンハープの記念演奏会を行ないました。祝賀会となり和気あいあいとした雰囲気ですべてに40年の歴史をつもる話しをさかんに宴を深めていただきました。

その祝賀会の中でご披露したのですが私たちのOBの一文を抜粋してぜひもう一度ご紹介したいと思います。

「それは多分昭和33年のことである。東京の日本印刷新聞社の発案、音頭とりで行なわれた事だと思うのだが、長野から私を含めて4名がある蒸し暑い夏の夕方、汗を拭き拭き東京の新聞社の2階へ集まった事を覚えております。意外に出席者も少なく、東京、神奈川方面の方々と我が長野勢。それに新聞社の方との十数名の会議で、さて会名は何とする？との件になった。私は途端にすでに私たちの会の名である『緑友会』と思わず声を大



にして提案したのが因らずしも全員の賛成を得、青年らしい新鮮さに、若さと知的な夢もあるとのことで、即座に決定されたものであるが、なお業界本名の‘印刷’なる文字も付記しようとのことで‘全国印刷緑友会’が生まれたのである。それがもう何十年もへた今日まで全国的に普及、愛称され続け、さらに今後もこの名によって一層の業界団結の基となりつつあることはこれはまさに快なるかである。色褪せない鮮明な緑には純粋と平和の安らぎを覚え、だれにも親しまれる。いつまでもいつまでも色褪せることなく、若くして誠実に純粋でありたいものであります。理想の業界はここより生まれることであろう……。」と書いてございました。全国印刷緑友会と長野との40年前からの、かかわりがお分りいただけたと思います。今後我々も緑友精神をさらに継承してまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

ご出席いただいた皆様には本当にありがとうございました。

(長野青年印刷人緑友会 水寄昌弘 記)

平成 8 年度 第 39 期 事業 報告

事業	日時	場所	参加数	主管
第39回 山形総会	平成8年5月25日(土)	天童ホテル	32グループ 123名	山形印刷研修会
第39回 山梨大会	平成8年10月19日(土)	甲府常磐ホテル	33グループ 275名	やまなし印刷若人会
第39回神戸復興支援セミナー	平成9年2月8日(土)	神戸市産業振興センター	33グループ 253名	大阪青年印刷人クラブ・神戸印刷若人会

平成 8 年度 常任幹事会・グループ長会議報告

内容	第1回グループ長常任会議	第2回常任幹事会	第3回常任幹事会	第2回グループ長会議	第4回常任幹事会
日時	平成8年5月25日(土)	平成8年6月29日(土)	平成8年9月14日(土)	平成8年10月20日(日)	平成9年3月22日(日)
場所	天童ホテル	神戸外国人クラブ	ホテル日航東京	甲府常磐ホテル	青森浅虫温泉 椿館
議事	1. グループ長紹介 2. 金沢セミナー収支報告 3. 山形総会報告 4. 山梨大会について 5. 大阪セミナーについて 6. 長野総会について 7. 東京大会について 8. 各担当常任幹事より報告 9. 各グループよりの連絡事項 10. その他	1. 山形総会報告 2. 山梨大会について 3. 神戸復興支援セミナーについて 4. 長野総会について 5. 40周年記念大会準備状況 6. その他	1. 山梨大会直前準備状況 2. 神戸復興支援セミナーについて 3. 長野総会について 4. 40周年記念大会準備状況 5. その他	1. 山梨大会報告 2. 神戸復興支援セミナーについて 3. 長野総会について 4. 東京大会について 5. 次期会長推薦について 6. 今後の事業計画について	1. 神戸復興セミナー報告 2. 長野総会について 3. 次年度総会開催地について 4. 40周年東京大会について 5. 仙台セミナーについて 6. 平成8年度決算と財務状況の検討 7. その他

平成 8 年度 決算 報告 書

(平成8年4月1日～平成9年3月31日)

収入の部

科目	本年度決算額	摘要
会費収入	3,431,609	43×27,000=1,161,000 1.262×1,800=2,271,600 3,432,600
前期繰越金	155,810	
受取利息	1,258	
合計	3,588,677	

(未収金 1グループ 36,000円)

支出の部

科目	本年度決算額	本年度予算額	摘要
総会補助金	400,000	400,000	山形総会(8.5.25)
大会補助金	400,000	400,000	山梨大会(8.10.19)
セミナー補助金	300,000	300,000	大阪セミナー(9.2.8)
機関誌「緑友」	927,000	927,000	フレンズオブグリーン(91.92.93号)
インフォメーション増刷費	100,000	200,000	
ビデオ補助金	150,000	200,000	大阪セミナー
会議費補助金	54,820	100,000	
会計事務費	100,000	100,000	
総務事務費	100,000	100,000	
書記事務費	100,000	100,000	
渉外事務費	50,000	50,000	
名簿事務費	50,000	50,000	
広報事務費	50,000	50,000	
印刷通信費	46,650	70,000	
会長活動費補助	200,000	200,000	
次期繰越金	560,207	408,010	
合計	3,588,667	3,655,010	

緑友基金会計報告

(平成9年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	摘要
定期預金	5,985,451	大和銀行 お茶ノ水支店
受取利息	3,558	8年8月 1,169円 9年2月 2,389円
	5,989,009	大和銀行 お茶ノ水支店

繰越金処理 (案)

当期繰越金	560,207円
上記金額を次のとおり処理する	
緑友基金へ繰入	150,000円
次期繰越金	410,207円

監査報告書

平成8年度決算関係書類を監査したところ適正に処理されていることを認める

平成9年5月14日

会計監査 松浦正欣 ㊞
 会計監査 岸 徹 ㊞

全国印刷緑友会会則変更

現行会則

第16条 常任幹事は会長を補佐し、常任幹事会への参画及び次の役割を分掌する。
 直前会長：1名 総務：1名 会計：1名
 書記：1名 広報担当：1名 各簿担当：1名
 (名簿は5年に1度発行、発行時)
 ブロック担当
 北海道・東北：1名以上 関東甲信越：1名以上
 東京：1名以上
 中部：1名以上 近畿・中国：1名以上
 九州北：1名以上 九州南・沖縄：1名以上
 イベント担当
 初年度総会：1名、初年度大会：1名、
 初年度セミナー：1名
 次年度総会：1名、次年度大会：1名、
 初年度セミナー：1名

変更案

第16条 常任幹事は会長を補佐し、常任幹事会への参画及び次の役割を分掌する。
 直前会長：1名 総務：1名 会計：1名
 書記：1名 広報担当：1名 名簿担当：1名
 渉外担当：1名 情報ネットワーク推進担当：1名
 (名簿は5年に1度発行、発行時)
 ブロック担当
 北海道・東北：1名以上 関東甲信越：1名以上
 東京：1名以上
 中部：1名以上 近畿・中国・四国：1名以上
 九州北：1名以上 九州南・沖縄：1名以上

全国印刷緑友会役員

(平成9年4月1日平成11年3月31日)

役職	氏名	地区	会名	会社名
会長	松浦正欣	佐賀	佐賀県印刷人若楠会	松浦印刷(株)
直前会長	長尾良宣	青森	青森県印刷青年経営者会議	長尾印刷(株)
総務担当常任幹事	江馬康雄	仙台	仙台刷親会	高速美術印刷(株)
会計担当常任幹事	山口善生	長崎	長崎青年印刷人会	(有)東洋印刷
書記担当常任幹事	木下隆和	佐賀	佐賀県印刷人若楠会	西部印刷企画(株)
広報担当常任幹事	依田訓彦	山梨	やまなし印刷若人会	(株)少国民社
渉外担当常任幹事	小倉克夫	茨城	茨城印刷緑友会	(株)二鶴堂印刷所
情報ネットワーク委員担当常任幹事	白井慶吾	東京	文京緑友会	(株)スタッフ・エス
名簿担当常任幹事	棚橋泰仁	名古屋	名古屋而立会	(株)キングコーポレーション
北海道・東北担当常任幹事	大門一平	秋田	秋田印刷緑友会	秋田製本印刷(株)
関東・甲信越担当常任幹事	竹内隆文	長野	長野青年印刷人緑友会	(株)文栄社
東京担当常任幹事	小森善信	東京	印刷同友会	(株)小森コーポレーション
〃	安藤英夫	東京	千代田印刷人新世会	(有)えびす堂
〃	山田弘文	東京	東京プロセス製版青樹会	山田写真製版(株)
中部・北陸担当常任幹事	高橋一郎	岐阜	ぎふ印刷翠陽クラブ	(株)印刷の栄文社
〃	中村寿男	金沢	金沢青年印刷人クラブ	(株)正和工業所
近畿・中国・四国担当常任幹事	松口正	大阪	大阪青年印刷人クラブ	(株)大阪シーリング印刷
〃	福田信彦	広島	広島青年印刷研究会	日進印刷(株)
〃	乾孝康	徳島	徳島一二会	(株)教育出版センター
九州北担当常任幹事	松尾善和	福岡	福岡印刷若業会	(有)松古堂印刷
九州南担当常任幹事	大鶴紀元	熊本	熊本県印刷緑友会	(株)櫛山印刷所
〃	外間政朝	沖縄	沖縄県印刷若汐会	光文堂印刷(株)
会計監査	伊藤文二	北海道	札幌青年印刷人の会	国文社工藤印刷(株)
〃	島義雄	神戸	神戸印刷若人会	(株)島印刷

平成9年度

第1回 グループ長・常任幹事会議

平成9年5月24日
ホテル 国際21

- 会長挨拶
- 各常任幹事・各グループ長 自己紹介
- 議事

1. 東京大会の準備状況について（芝崎氏）

- ①スケジュールについて（別紙）
- ②平成9年8月2日及び14時から20時半まで場所はホテル日航東京
- ③会員23,000円、同伴者15,000円 参加予定人数は500名を予定
- ④テーマは「変わろうよ……緑友」
- ⑤講演は塚田さんをお願いすることに決定した
- ⑥予算ですが、これからは大会その他について大型の予算をつけてほしいという意見が出た。
- ⑦予算締切は日航東京自体が非常に真夏リゾートのかき入れ時ということで、6月11日締切でお願いします。
- ⑧各グループがどの位の参加人数か、各グループ長に聞いたところ約238名、在京部会380名を十分超えて400名はいきたいという事でした。
是非今言った人数（+）αで、よろしく願いたい。

2. 各イベントについて

イベントの場合は本年度、来年度からは事業計画、予算（案）を常任幹事会に提出する。
それで承認をしたうえで下へ降ろして行く手順を取る。

3. 各記念誌発行について

記念誌100万と書いてありますけれど、どのような記念誌を作るかという意見がでた。
今後40周年の記念誌との絡みもあるのでその辺は色分けをしていきたい。

4. フレンズオブグリーン記念号について

フレンズオブグリーンの100号は記念の号を作成したらどうかという意見がでた。

5. 第31回仙台セミナーについて

総会で補助金がでるという形になったので内容・予算については次回の常

任幹事会で報告する。テーマを作ってディスカッション方式で行う予定。

6. 今後の運営状況について（江馬氏）

新常任幹事・グループ長の顔写真を入れてインフォメーションを作る。
常任幹事会に提出される大会・セミナー等行事・イベントのチラシとか、含めていろんな資料が出てきますので各ブロック担当の方々の御協力をお願いしたい。

7. 会費値上げについて

年会費はなるべく早く振り込んでもらう。
今年は今行通りで、会費の値上げについては、皆様のコンセンサスを心得て出来るのだったら、こういう方法が一番良かろうという意見を言って下さい。
会費の取り方が2本建て、個人割りということなど。
次回の常任幹事会に早急に提案をしていきたい。十分議論をした上で進めていきます。アンケートも含めて考えていく。
大会・セミナーの予算は付けますけど、皆様のご努力を願って補助金をお返し願う方向でお願いしては、どうか。という意見が出た。

8. グループ長・常任の名簿について

早急に名簿を作って送っていただきたい。簡単なものを早く送ることになります。

9. 会計常任幹事より（山口氏）

各会の人員・名簿等、資料を送っていただいている分、会計担当もしくは会長さん宛に請求申し上げますのでそのへんはご理解をお願いします。

10. 名簿常任幹事より（棚橋氏）

直前のグループ長さん宛にデータを送っていますので早めにクリーニングをして送っていただきたい。

11. 松浦会長より

皆さん一昨日より長時間にわたりありがとうございました。
又、セッティングをしていただいた長野緑友の皆さん、本当にありがとうございました心より感謝申し上げますとご挨拶がありました。

12. 長野緑友の水寄実行委員長より

本日は皆さんお帰りになるわけですが、お帰りの際は交通情報等十分注意されて、無事ご家庭にお着きいただくようにご挨拶がありました。

13. 総務常任幹事より（江馬氏）

それでは本日第1回グループ長・常任幹事会を終了させていただきますとご挨拶があり、解散（拍手）

以 上

平成9年度全国印刷緑友会基本方針

変わろうよ…緑友

全国印刷緑友会40周年東京大会のスローガンです。

変化は時代の常といわれるとおり、全てのものは常に変化をし続けることが人間社会の普遍的な原則だと言えます。

現在、私たちの属する印刷業界は、インターネットなどによる通信の多様化やPDFやSGMLなどに代表されるデータベース管理の変化など、アナログからデジタルへという社会の大きな変化のなかで、新しい時代の中心的な役割を果たす場が到来しようとしています。

本年は、緑友会が発足して40年の節目を迎える年となります。40年の歴史の重みは何物にも変えることのできない貴重なものです。これまでこの緑友会を築き支えて頂いた数多くの先輩方には、心からお礼を申し上げずにはいられません。その数多くの先輩方に感謝の念を持ちながら、今まさに時代の変化を先取りするオピニオンリーダーとしての会員グループを支える緑友会へと変化する時でもあります。

『灯灯無尽』先輩方から引き継がれた緑友の炎は、永遠に変化をし続けながら新しい時代へと引き継がれていかなければなりません。

汲めども尽きぬ知恵の泉…緑友

人との出会いが人生を明るくし迷いを払拭させてくれます。

時には人に感銘を与え、時には人生やビジネスの道を示してくれます。

新世紀を間近かに迎えようとする今、緑友の仲間との出会いから必ずや私たちの心は勇気づけられ、進むべき道に明かりを点してくれるはずです。

現在緑友の会員は全国に1,300名を数えるまでになりました。そしてその会員は同業といえども全てがそれぞれの特性を生かした経営をされており、1件として全く同じ企業は無いのです。緑友会には1,300ページの辞書があるのです。そして、そのページをめくるのは

私たち自身なのです。

緑友の会員が一堂に会するチャンスは残念ながら数多くはありません。総会と大会とセミナーの数少ないチャンスが、会員どうしのコミュニケーションの場としてもっともっと活用できるようにすることが、まず第一に今年度課せられた課題ではないかと思います。

今年度も6人の方に情報ネットワーク推進委員を委嘱しました。大変多忙な方ばかりではありますが、それぞれの分野でのオーソリティーとして全国のグループの活性化と会員企業の発展のためにご尽力頂きます。

ただただ楽しい…緑友

私たちは毎日激甚な競争の中で生きています。また、企業のリーダーは孤独です。

ともすればその現実に押し流され、利想的になりがちなこともあるでしょう。しかし、私たちは企業のリーダーとして常に前向きに仕事に打ち込んで、世の中に役立ち、自分自身も幸せだったと感じられる生き方を追求することが必要です。

緑友の仲間達が、企業の規模や年齢の差、地域の差を越えて大いに酒を酌み交わし、同じ生業を営むもの同志として人生を語り、仕事の未来を語り、友情を深めることで互いに触発され、また新たな気持ちで仕事に向かう。

そんな楽しい緑友会でありたいものです。

学び合う場としての常任幹事会

常任幹事会は、言うまでもなく緑友会総会により付託された事項を執行していく場として存在します。本年度は、グループ長会議合同開催を含め6回開催する予定となっておりますが、常任幹事になられた会員は、大変忙しいなか全国から参加頂くわけです。

そこで今年度は、常任幹事会の機会に、会社見学や体験報告、ディスカッションなどの学ぶ場を作ります。また、この常任幹事会には緑友会の会員であれば誰でも自由に参加できる事とします。特に開催地周辺のグループの参加を期待します。

平成9年度 事業計画

第40回定期総会

主管：長野青年印刷人緑友会
日時：平成9年5月24日
場所：ホテル国際21

第40回全国大会

主管：在京9グループ
日時：平成9年8月2日
場所：ホテル日航東京

第31回セミナー

主管：仙台刷親会
日時：平成10年1月31日
場所：メルパルク（予定）

機関誌『フレンズオブグリーン』

編集：やまなし印刷若人会
94号：平成9年7月発行
95号：平成9年11月発行
96号：平成10年3月発行

常任幹事会

第1回 平成9年7月 場所：東京
第2回 平成10年1月 場所：仙台
第3回 平成10年3月 場所：青森

グループ長・常任幹事会

第1回 平成9年5月25日 場所：長野
第2回 平成9年8月2日 場所：東京
第3回 平成10年2月1日 場所：仙台

40周年記念誌編集特別委員会発足
平成9年7月

全国印刷緑友会会員名簿発行
平成10年3月予定

イベント実行委員長・主管グループ長

平成9年度

第40回定期総会

水 寄 昌 弘
(長野青年印刷人緑友会)

第40回全国大会

芝 崎 孝
(千代田印刷人新世会)

第31回セミナー

中 村 等
(仙台刷親会)

平成10年度

第41回定期総会

沢 田 義 治
(青森県印刷青年経営者会議)

第41回全国大会

岩 重 昌 勝
(黎明さつま)

情報ネットワーク推進委員

間 直 樹 / 福岡印刷若葉会
井 上 雅 博 / やまなし印刷若人会
岡 田 吉 生 / 名古屋而立会

白 井 慶 吾 / 文京緑友会
逸 見 節 夫 / 刷友青山会
米 倉 伸 三 / 千代田印刷人新世会

平成9年度 収支予算

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
前期繰越金	410,207	
会費収入	3,430,800	43グループ×27,000=1,161,000円 1,261人×1,800=2,269,800円
合 計	3,841,007	

支出の部

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
機関紙『緑友』	1,300,000	フレンズオブグリーン 94号・95号・96号
セミナー記録費	300,000	セミナー報告
会 議 費	300,000	
会 計 事 務 費	100,000	
総 務 事 務 費	100,000	
書 記 事 務 費	100,000	
渉 外 事 務 費	50,000	
名 簿 事 務 費	100,000	
広 報 事 務 費	50,000	
印 刷 通 信 費	70,000	
長野総会補助金	400,000	
東京大会補助金	400,000	
仙台セミナー補助金	300,000	
会 長 活 動 費	200,000	
予 備 費	71,007	
合 計	3,841,007	

緑友基金処理

平成9年3月31日現在残高	5,989,009円
平成8年度より繰入	200,000円
<hr/>	
平成9年度当初残高	6,189,009円

「感力」が大切な時代に生きる

名古屋而立会 (株) キングコーポレーション 棚橋 泰仁

入社3ヶ月たった新入社員と個人面談をした時、ある新入女子社員から「もうやめたい」という言葉が出ました。いわゆる少し遅れた「5月病」っていうのでしょうか。彼女の配属は電算部でM A Cのオペレーターとして採用され、直属の上司は入社5年目の女性ベテランオペレーター。理由は、上司の教え方が厳しすぎること。一方ベテランの女性の話を聞くと「新入社員の覚えが非常に悪く何回同じことを教えても聞いてくる。私は根気よく教えています」と両者の言い分。

私たち経営者にとって、このような場面に遭遇するのは日常茶飯事のことだと思います。特にデジタル化によるオペレーター養成は技術面での教育も大切ですが、比較的会話を必要としない業務の性質上、人との関わり方も教育しなくてはなりません。オペレーターに限らずこういう「今時の若い者」への教育（それも家庭教育のレベル）や関わり方は非常に大切になってきます。又、これからはこの「若い者」が大切な人材・戦力になっていくのは必至です。

「今時の若い者」は我々があまり普段意識していない「感力」の鋭い人が多い様です。「体力」「知力」というのは日頃使い慣れているワードなのですが、この「感力」あまり聞き慣れないと思います。英語ではセンシティブティ- (Sensitivity) かセンシビリティ(Sensibility) という単語として存在します。辞書では、両方共も「感受性、敏感」と訳してあります。つまり、言葉の通りに言ってしまうと「感じる力」で、言い換えれば「自分が感じとれる力」ということなのです。感じる対象は、ヒト・モノ・音など何でも対象になります。

例えば、商談の席で「よく相手の裏を読め」といわれます。「言葉以外の部分で表情、仕草から相手の思惑をつかむ」ということなんです。これはやはりこの「感力」の効果があると思います。

新入社員の件で、ベテランオペレーターはこの「感力」が欠けていたのではなかったかと思えます。普段の新入社員の行動や態度などから何かもつと感じとれるものがあつたら対応も違っていたと思います。「自分では普通に教えてるつもりなのに相手には怒ってる様に思われてしまう。」感力があればある程、こうとられてしまいます。

自分は音楽が好きです。普通は好きなミュージシャンと

か、ジャンルとかで話をするのですが、私は、「あの曲のピアノソロがいい」「ステイービーワンダーのハーモニカはすぐわかる」とか「好きなプロデューサーのアルバムは歌手が違っていてもいい」という感じになってしまいます。言い方かえれば「音楽オタク」なのかもしれませんが、自分自身、感力向上の為に、音楽に携っていることは非常に大切なことだと思っています。

感力は体力と同じで鍛えることができると思います。何かに対して「きれい」とか「すばらしい」と感じることは我々の普段の生活の中ではごく稀ですし、そういう機会も少なくなっています。たとえば、印刷物に対してそういう気持ちを持ったことがありますか。しかし、「今時の若い者」は我々以上にこの「感力」をもっていますし、リーダー格の人の「感力」が鈍いとすぐに見破られてしまい、仲々心を開いてくれません。だからといって無理に話題を合わせるということでもないので。自分も会議や朝礼の席で会社の方針などを話すことがあります。しかし、自分が本当に心底そう思って話さないと「感力」の強い人にはすぐ見破られてしまいます。「右向け右」と言っても向かない人も増えています。

緑友会では、ここ最近「ネットワーク」ということが盛んに言われています。年に3回の集まりの中でいろいろなグループのメンバーの方と接しますが、この「感力」の部分で合う人、合わない人がいることは事実です。ただ、その集まりに行かなければそういうこともわかりません。合う人は必ずいるはず。今だから言える話ですが、昨年の山梨大会の井上君との出会いもこの「感力」が大きく影響していた様な気がします。話とかしててもお互いの「感力」が通じ合うのがよくわかるのです。

「感力」を使って接すればきっと何かが見えてきて楽しくなってくると思います。

次回の担当は

岩重昌勝君 (黎明さつま)
協業組合ユニカラー
鹿児島市小山田町7276-3
TEL (0992) 38-5525
FAX (0992) 38-5534

◆全国印刷緑友会40周年東京大会

開催日：平成9年8月2日（土）

会 場：ホテル日航東京

登録料：23,000円

主 管：在京9グループ



◆全国印刷緑友会仙台セミナー

開催日：平成10年1月31日（土）

会 場：秋保温泉「ホテル佐勘」

主 管：仙台刷親会

